

さんりんしゃ 三輪車

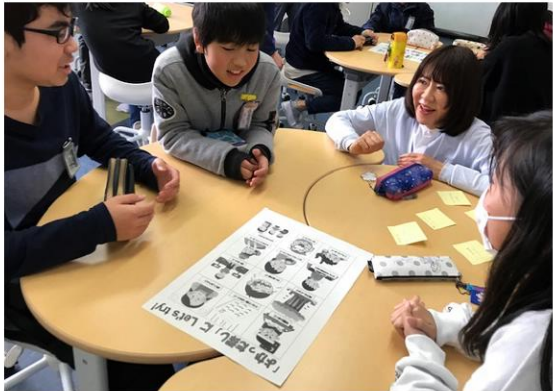


ニッキー

八千代市立新木戸小学校
《校長室だより》
発行：校長 寺田 好江
令和元年度 第 35号
令和2年 2月 13日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

「試合に負けて…よかった」『陽転思考』を身に付けよう！



2月7日（金）6年生を対象に、『陽転思考』の和田裕美さんをお招きして道徳の授業を行いました。和田裕美さんは作家・営業コンサルタントとして、これまで出版した著書も累計200万部を突破しているほどの有名な方です。平成27年度に、初めて道徳の授業をしていただいて以来、5年連続『陽転思考』の授業をしていただくことができました。

和田裕美先生は、困った出来事から「よかったこと」を見つける考え方を提唱しています。授業では、目の前の事実を受け入れ、その事実に対してよかったと思えることを考えていきます。

サッカーの試合に負けて泣いている写真から、「負けてよかったこと」を考えました。「チームの弱点がわかってよかった。」「次の試合は絶対負けたくない。悔しさを味わうことができた。」「ここまで勝ち進むことができてよかった。」負けたことをプラスに考える練習です。

次に色々な困った場面を提示され、グループで「よかった」を出し合いました。

- *道に迷ってよかった。こんなところに新しいお店発見！
 - *風邪をひいてよかった。いつもよりお母さんが優しい！
 - *宿題が多くて… *親に叱られて… *雨が降ってきて…
 - *テストで悪い点を取って… *おこづかいがなくなって…
- 子供たちからは、次々と光る意見が出てきました。

そして、この後グループで「人生よかったかるた」を楽しみました。困ったことが書かれている絵札を「よかった！」と大きな声で言いながら取り合います。取った人はみんなに「なんで？」と聞かれるので良かった理由を話します。どのグループからも「よかった！」という声と拍手が聞こえてきました。

もしかしたら、これからの人生でたくさん困ったことに出会うかもしれません。これから、中学校に進学する6年生にとって、『陽転思考』の考え方を学べたことがプラスになるはずですよ。

人には考え方の癖があり、悪い方向に考える癖を持つ脳になってしまうと、嫌なことばかり考えて真っ暗な人生になってしまいます。『陽転思考』の考え方ができていけば、人生を明るい方向へ変えていけるとお話していただきました。たくさんの保護者の方にも参観いただき、ありがとうございました。

参観された保護者の方から「人生よかったカルタ」の購入について問い合わせがありました。「人生よかったカルタ」で検索していただくと連絡先が出てまいります。子ども版は1500円（税別）で送料がかかります。

2月中に新木戸小学校にお問合せいただければ、まとめて発送できるので送料を減額できると考えております。

御希望の方は、担任または教頭までご連絡ください。



【6年生が考えた陽転思考】

- *給食で苦手なものがでた… 食べてみたら意外と美味しかった。嫌いなものを克服するチャンスだ！
- *変なあだ名をつけられた… 自分のことを気にしてくれているんだとわかってよかった。
- *忘れ物をした… しっかり確認しないといけないことが分かってよかった。
- *考えていた意見をすべて言われてしまった… 新しい考えがでてくる。よかった。
- *図工で失敗… そこから新しい何かが生まれるかもしれない。
- *水泳のタイムがおちた… まだ次がある！失敗は成功の基
- *傘がないのに雨が降ってきた… 走って帰って運動になった
- *家の鍵を忘れた… 友達とたくさん遊べた
- *宿題が多い…少しでも勉強がわかるようになる

【陽転思考の授業を受けて…】

- 私は、悪いほうに考えてしまうことが多かったけど、今日の授業でよかったことを考えようと思った。
- 「よかった」と考えるだけで、気持ちが変わるのは意外と簡単なんだと思った。
- 落ち込むことがあっても、それを前向きに考えていくことが大切なんだと改めて実感した。
- 悪いことを考えてしまうと、損してしまうことが分かった。「〇〇でよかった」のように「よかった」をキーワードにして考えると前向きな考え方に変わっていくとわかったので、何か嫌なことがあったらやってみようと思った。
- 今日の授業で、困ったことを全部『陽転思考』に変えてみたら、すごく楽しかった。
- 失敗してしまったら、そのままにしないで、次にどうしたらいいか、「よかった」と思えるような理由を考えて前向きになろうと思った。
- 何か嫌なことがあると、どんどん暗くなってしまっていたけど、自分だけがこんなに不幸なわけじゃなく、思考の問題なんだとわかった。これからは「よかった」を探していきたい。
- これからは、よかった探しをして人生を楽しみたい。「よかった」を探すことで病気が早く治ったりすることもあると聞いて、すごいと思ったし、この考え方が広まれば、世界も明るくなっていくと思う。
- 今日の授業で「いいことを一つでも見つける。」「いい方向に考えるくせをつける」ことがわかった。いいことを一つ見つけてみたら心が軽くなった気がした。これからも使っていきたい。
- これから中学生になり、大人になっていったら、いやなことの中からいいことをみつけて、大変でつらいことも頑張っ乗り越えたい。
- 一番印象に残っているのは、「試合に負けてよかった。」私は、負けたら悔しいだけで、よいことなんてないと思っていた。でも、課題がみつけれられた、仲間の大切さがわかったなど色々考えられて、面白いと思った。
- 「人生よかったカルタ」をして嫌なことでも前向きに考えてみると、今までの嫌だったことがいい経験で自分にとって大きな宝石だと思えてきたところがよかったし、楽しくなった。
- これから先、嫌なことがたくさんあると思うけど、前向きに明るく考えて生きていこうと思った。一日の中で、小さな「よいこと」をたくさん見つけようと思った。
- 周りの人も、何かに悩んでいたたり、悲しんだりしている時に、元気になれるようにたくさん声かけをして「〇〇でよかった」と言ってもらえるような人になりたい。
- 嫌なことがあっても、『陽転思考』で「次はできる！」と思うと嫌なことなんか忘れてしまうので、いつも前向きに考えようと思った。
- 『陽転思考』のトレーニングをして前向きに思えると、心もなんだか嬉しくなる気がして楽しくなった。これから積極的に『陽転思考』の考えを使っていきたい。